



マニラ国際空港を飛び立ったばかりの上空からである。

主翼の奥に霞んで見えるのがラグナ湖、アジアでも有数の大きさを誇り、面積は琵琶湖の約1.3倍という。

画面には見えないが左側方向にマニラ湾がある。

ラグナ湖とマニラ湾の間はパシッグ・リバーでつながり、メトロマニラを横断する。

こうして上空からパシッグ・リバーの蛇行を追いながら、滞在中には親しみ馴染んだ建物を見つけていく。

そこで仕事や生活している人たちの事に思いふけるうち、機体はラグナ湖の上空を大きく左側へ旋回した。

そして眼下は、またたく間に雲が広がり地上の景色を白一色で塗りつぶしてしまった。

その上を機体はバンコクに向け孤独な飛行を続けていった。